



セブン&アイグループの

持続可能な調達について

GREEN CHALLENGE 2050達成を目指して

グループ商品戦略本部 セブンプレミアム開発戦略部 芳賀正延

2025年4月15日（火）

— TODAY'S
AGENDA

1

**グループ概要と 環境宣言
『GREEN CHALLENGE 2050』**

2

持続可能な調達取り組み

3

お客様とのコミュニケーション

— TODAY'S
AGENDA

1

**グループ概要と 環境宣言
『GREEN CHALLENGE 2050』**

2

持続可能な調達取り組み

3

お客様とのコミュニケーション

私たちの事業基盤は地域社会

店舗数
約**22,800**店
(国内)

※2024年2月末現在

お店があって…

お買い上げ頂き…

グループ売上
18兆**4,428**億円

※セブン-イレブン・ジャパン、セブン-イレブン・沖縄および7-Eleven, Inc. における加盟店売上を含めた数値 (2025年2月期)

ご来店頂き…

来店客数
約**2,230**万人/日
(国内)

※2024年2月期

プライベートブランドで…

セブンプレミアム総アイテム数

約**3,400**アイテム

※2024年2月期

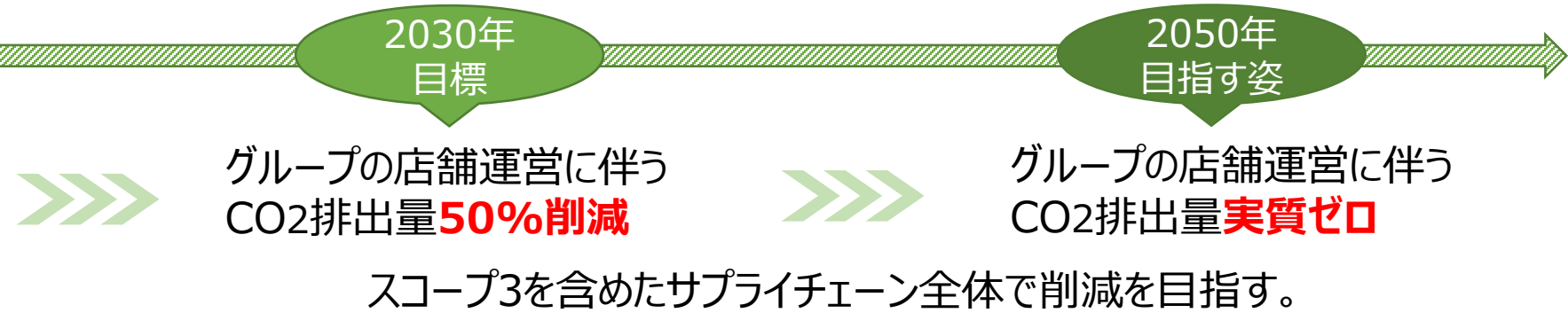
お客様の生活の場（地域社会）があつてこそ、私たちの事業が成り立つ
地域社会が持続可能なものになるよう「サステナブル経営」推進が必要

環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の目標

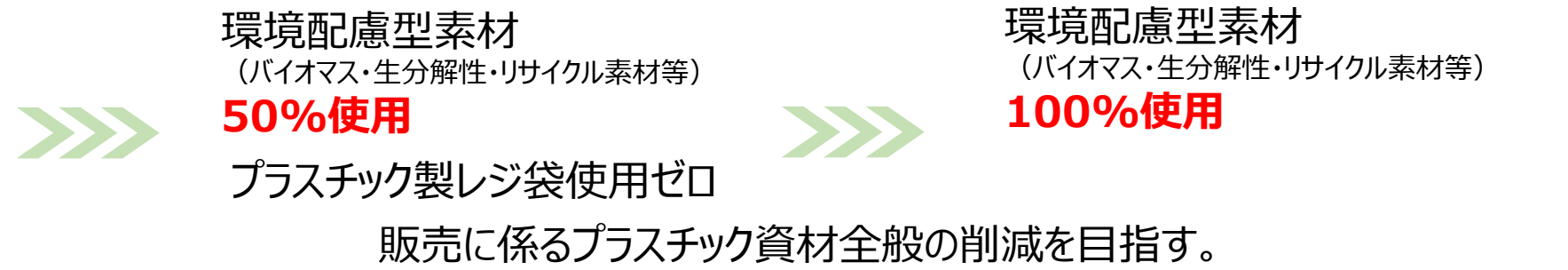
目指す姿



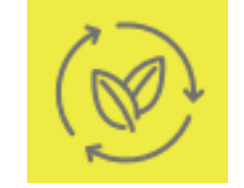
CO2排出量削減



プラスチック対策



**食品ロス・
食品リサイクル対策**



持続可能な調達





イトーヨーカ堂 フード&ドラッグ事業部長 執行役員 西山 英樹

GREEN CHALLENGE 2050 イノベーションチーム
持続可能な調達リーダー 兼務

目標・目指す姿

オリジナル商品（セブンプレミアムを含む）で使用する食品原材料は、
持続可能性が担保された材料を使用。

Target for 2030

50 %



Target for 2050

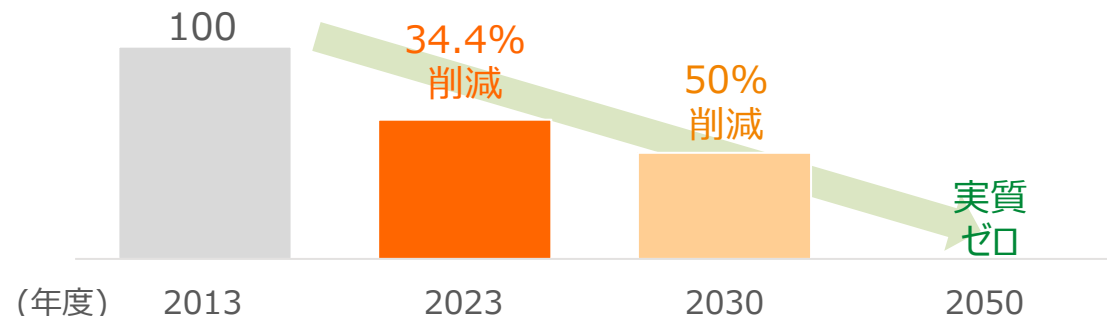
100 %



・環境宣言における2050年までの目標に対し、更に取り組みを強化

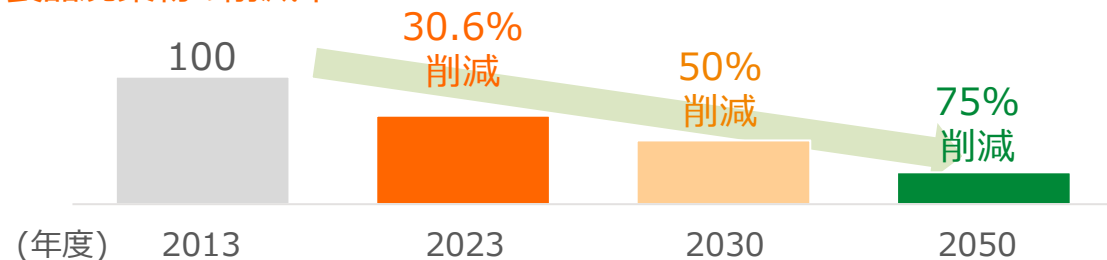
① CO2排出量削減

グループの店舗運営に伴う排出量の削減率

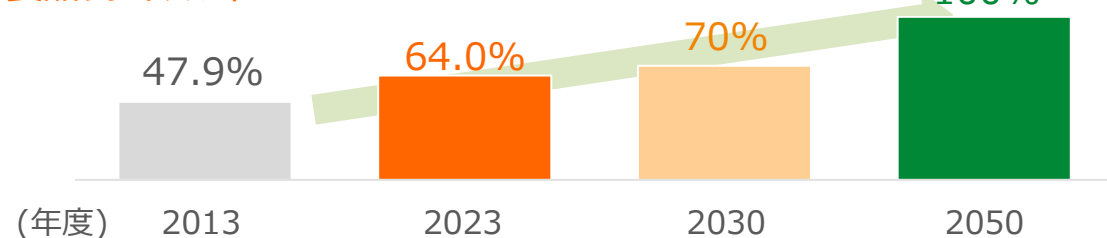


③ 食品ロス・食品リサイクル対策（国内）

食品廃棄物の削減率

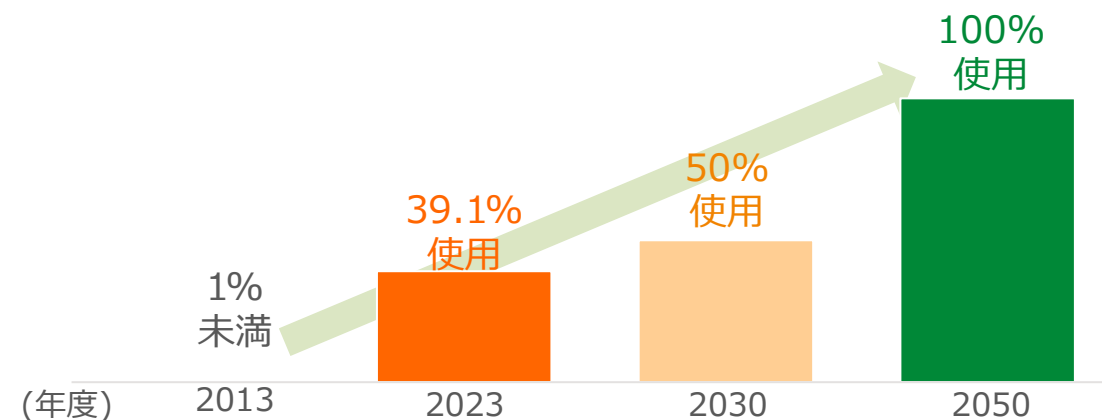


食品リサイクル率



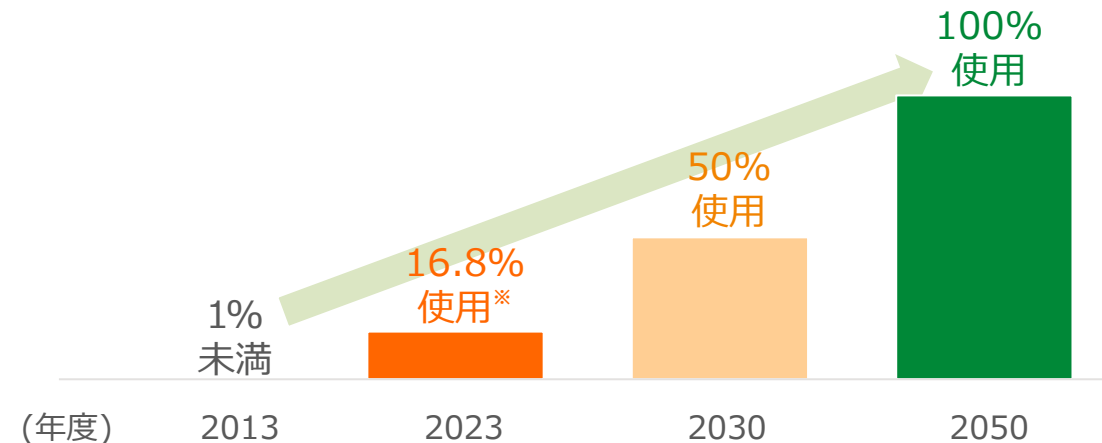
② プラスチック対策

オリジナル商品で使用する容器の環境配慮型素材使用率



④ 持続可能な調達（国内）

オリジナル商品の食品原材料の持続可能性が担保された材料の使用比率



— TODAY'S
AGENDA

1

グループ概要と 環境宣言
『GREEN CHALLENGE 2050』

2

持続可能な調達取り組み

3

お客様とのコミュニケーション

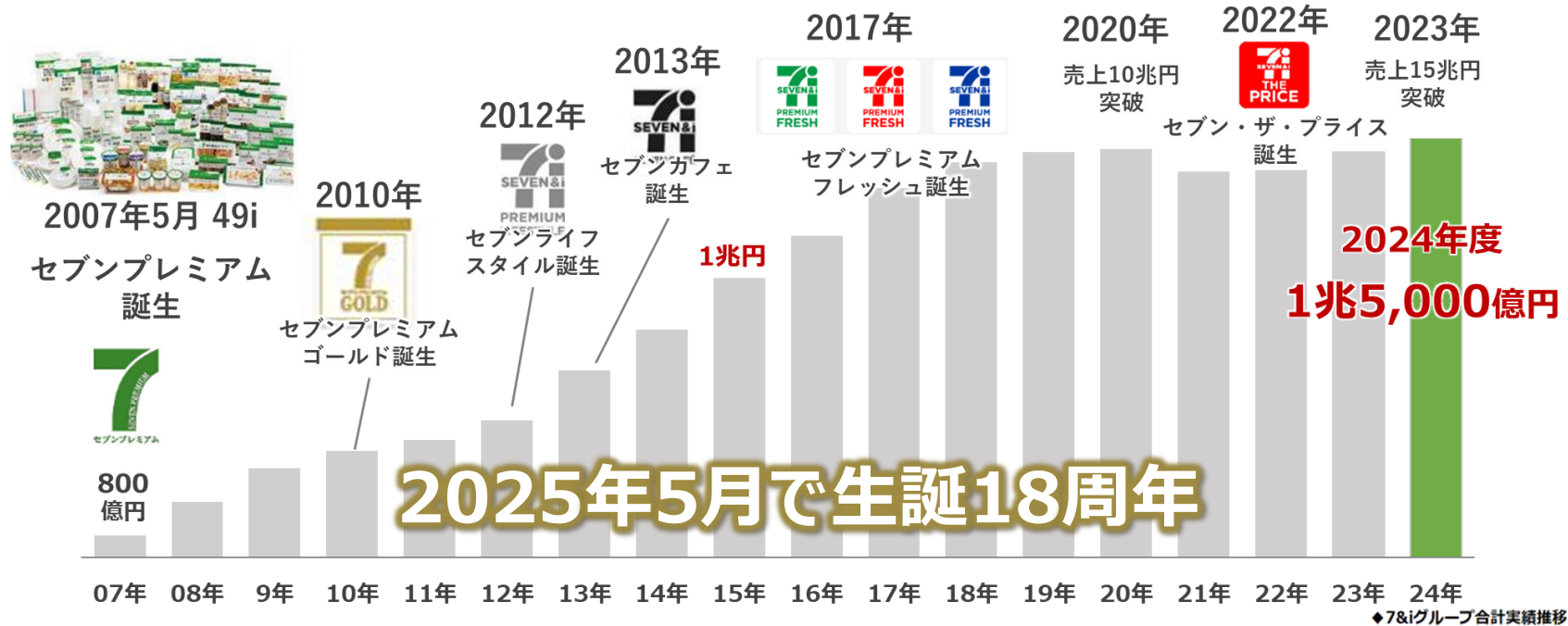
セブンプレミアムとは



「お客様の日常の食卓をより豊かに・楽しく・便利に」をキーワードに
お客様の「**こんなのほしかった**」を追求し続けるプライベートブランド

『セブンプレミアム』の累計売上金額が16.5兆円を突破！！

※2024年度までの累計



年間売上金額10億円以上の商品

315
アイテム



セブンプレミアムを通して提供したいもの

上質

一流料理人、繁盛店
店主監修など7&iにしか
出来ない拘りの商品



価格

値上げによる家計負担増
生活防衛意識の高まり
に対応した値頃感



健康

ウェルビーイング推進
アイコン等で栄養素を
分かりやすく訴求



環境

CO₂削減、プラ対策
持続可能な調達、食品ロ
ス各分野毎への対応



「サステナブル」をグループ全体で
取り組む重要なテーマとして設定



持続可能な調達の取り組み事例①

農産物： JGAP認証取得商品の取り扱い



食品安全や労働安全を確保し環境にも配慮した持続可能な農業で生産された「GAP認証」の農作物の取扱いを拡大しています。拡大に向けグループの商品開発担当者の「JGAP指導員」の資格取得を促進し、お取引先や生産者様との連携を進めています(2023年度末時点で、のべ250名が取得)。

水産物： MSC・ASC認証商品の取り扱い



国際的な非営利団体MSC(海洋管理協議会)とASC(水産養殖管理協議会)による自然環境に配慮した認証水産物の流通管理に関する認証規格「CoC認証」を2022年10月に取得しました。取得により、「セブンプレミアムフレッシュ」に加え、グループのスーパーの店内で加工した刺身や切身などの認証商品を販売しています。

畜産物： 平飼いたまごの販売



動物の育てられた環境に関心を持つお客様が増えています。「セブンプレミアムフレッシュ」において、鶏の育てられる環境にも配慮し、自由に動き回れる平飼いの環境で育った鶏から取れた「昔ながらの平飼いたまご」を販売しています(2024年2月末時点スーパーストア全店で販売)。

お客様とのコミュニケーション

持続可能な調達を推進するためには、お客様とのコミュニケーションが不可欠です。そこで、2023年度は、9月、10月を「秋の環境月間」として、店頭やウェブサイト、SNSなどを通じて環境や人権に配慮した商品の訴求を強化しました。また、持続可能な調達に関する認証団体および協会の計7団体※の賛同を得て、ウェブサイトで相互にリンクを設置するなど、国内外のさまざまな認証制度への理解促進も図りました。さらに、お客様の選択に資するよう農林水産省が行っている温室効果ガス削減の「見える化」実証事業に参加しました。2024年1月から「セブンファーム東京（立川）平野さんの『ほうれん草』」に削減効果を分かりやすく示すラベルを表示してイトーヨーカドーで販売しました。2024年2月末時点で、6アイテム、6生産者がラベルを取得しており、今後も生産者様と一緒に環境負荷低減に取り組んでいきます。



2024年3月以降の
「見える化」ラベル

※「MSC認証」「ASC認証」「MEL認証」「JGAP認証」「国際フェアトレード認証」「アラスカシーフードマーケティング協会」「有機JASマーク」

アメリカ大豆の認証取得



01



生物多様性と高炭素ストック
湿地、草地、森林、生物多様性

02



生産活動
保全耕起、輪作、精密農業

03



労働者の健康・福祉と人権
EPA、EEO、OHSА、環境保護庁、雇用機会均等法、労働安全衛生法

04



生産活動と環境保全
CRP（土壌保全留保計画）、保全プログラム、トレーニング、情報共有



7プレミアム 認証付き豆腐バー

年間販売数量
約1,200万個

※2024年度累計実績



7プレミアム 認証付き納豆

年間販売数量
約2,000万個

※2024年度累計実績

SSAP認証マークを取得し 「安全」「安心」サステナブル対応

— TODAY'S
AGENDA

1

グループ概要と 環境宣言
『GREEN CHALLENGE 2050』

2

持続可能な調達取り組み

3

お客様とのコミュニケーション

多くのお客様接点をもつセブン&アイグループの特長を活かして、
店頭・ポスター・ウェブサイト等を通じて、「持続可能な商品」の価値を紹介

2024年秋の環境月間 店頭イベント

●SSAP認証豆腐バー食べ比べイベント

アメリカ大豆輸出協会（USSEC）主催

内容：SSAP認証の豆腐バーの食べ比べ、試食



●JGAPを探そうイベント

日本GAP協会主催

内容：JGAPマークのついた商品を店内で見つけた
お客様に景品（JGAP認証商品）をプレゼント



●ノルウェー大使館水産部トークショー

ノルウェー大使とインフルエンサーのトークでノルウェー産水産物の環境配慮について情報を発信



●人と環境にやさしいカカオの秘密を知ろう イベント

開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム主催

内容：参加型セミナーで持続可能なカカオを学ぶ



Copyright (C) Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

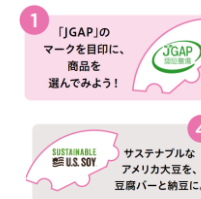
店頭ポスター

●2024年秋の環境月間



ウェブサイト

●2024年秋の環境月間特設サイト クイズを通じて環境問題について学べるコンテンツを提供



店舗を活かした啓発：USSEC連携「豆腐バー食べ比べ」イベント

イベント概要

主催：
アメリカ大豆輸出協会（USSEC）様

内容：試食とともにアメリカの環境配慮
された大豆の発信、ロゴPR

実施：U.S.SOYマーク商品のPR

- ①豆腐バー食べ比べ＋
USSECキーホルダー配布
- ②7プレミアム うま味極小粒納豆
サンプル配布
- ③パンフレット配布（キーホルダー・
納豆と一緒にお渡し）

日時：10月16日～18日 3日間
10:00～16:00

場所：イトーヨーカドー立場店
クッキングサポート

**豆腐バー
食べ比べイベント**

アメリカ大豆サステナビリティ認証を受けた大豆を使用！
大豆の持続可能な生産に貢献しています。

- 日時
10/16(水)～18(金) 10時～16時
- 場所
イトーヨーカドー立場店
クッキングサポートコーナー
- 内容
・持続可能な大豆紹介
・豆腐バー食べ比べ

♡参加者プレゼントも♪
※なくなり次第終了

協力団体：アメリカ大豆輸出協会様 (USSEC)



食べ比べをきっかけに、健康・
サステナビリティのことへと話がつながる。



reserved.

